

田中令三 （たなか けいぞう） 詩人。明治四十年岐阜縣生れ（一九〇七）。筆名田中父三。昭和二年東洋大學卒。東京府社會教育主事補、厚生省勤務。のち東京都事務官。傍ら村上成實等と詩友として詩作、戦時中日本文學報國會詩歌會員。十九年應召。

詩集『野岫』（昭和九年五月～二十五年）『新嶽歌』（昭和十二年六月～二十日民族社）、『海戦と花』（昭和十八年一月～二十日鉛書房）、『流鐵』（昭和十八年十一月～二十日東京八雲書店）、『赴戦歌』（昭和二十年一月～二十日鉛書房）等の他、『新しき母のため』（昭和十一年五月～二十日叢文閣）『兒童教育講座』（）、『青少年指導の構想（修補版）』（昭和十九年一月～二十日健文社）がある。

